評価对象	牛度	平成 2	24年度	事務事	業 評	価 表	<一般用>				村	ま式1
事務事		776	112 事 務	移動図書館	運営事業			担	当		教育部	
П	1		*************************************					担	当	課	国分図書館	
政策:	名	4	育み磨きあう	まちづくり				グ	ルー	- プ	管理図書グルー	ープ
施策	名	5	学習機会の	充実				電	話番	号	45-5111	
基本事	業名	1	学習環境づ	くり				内	線番	号	3052	
	会計	一角	设会計			# *	□ 単年度のみ					
予 算 科	款	10	教育費			事業 期間	■ 単年度繰返(開始 ²	丰度	Ę	S 43	年度~)	
早 科	項	6	社会教育費				□ 期間限定複数年度	(~)	
i i	ш	8	図書館費			似"处"石"中"	図書館法 霧島市立図書館の設置及び	答用	田に思	ナスタ	冬旬	
	П -	776	112				務局市立図書館の設直及び 同条例施行規則	日月	土に因	9 W	ויט ⊼	
関連計	関連計画 霧島市教育振興基本計画						_					-

1. 現状把握 (1)事務事業の目的と指標 <do></do>	>
---------------------------------	---

	科	項	6	社会教				□期間限定複数年度(~~~)						
	目	目	8	図書館	費		根拠法令・	図書館法 霧島市立図書	館の	設置及び管理	里に関する乳	€例		
		コード		76112			条例等	同条例施行規						
	関連計				興基本計画									
1.	現状批	理握	(1)	事務事業0	り目的と指標	<do></do>				ᇴᄼ	4左左右4	■		
1	手 肜	と (事務	务事業	美の概要)						平成2	4年度実績	Ī		
ごス 巡回	を実施 団箇所8	し、市民	その教	後と文化の	向上を図るため	交等に移動図書館車 かの学習環境づくりを n(次回巡回日まで)		の巡回サー	主な	国分図書館	の移動図書	が館車を更新	した。	
									活	平成2	5年度計画	Ī		
									動	事務事業の			00/5/15	
2	活動	指標(基	事務事	事業の活動量	量)			単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	巡回篖	所						箇所		79	82	82	82	
イ														
ウ														
3	対 翁	象 (誰 象 対	、何る象に	を しているのか	4 対象	指標 ^(③対象の) 表	大きさを そす指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	市民		3,(10	0 (1 0 0 1 1	人口		7 10 007	人		127,365	127,475	128,362	128,861	
イ														
ウ														
⑤	意	翼 (対	象を ど	うしたいのか	⑥ 成果	指標 (⑤意図の 達成度を	を表す指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	欲しい	情報を下	市民力	が得られる	貸出者数((移動図書館分のみ)		人		9,347	10,007	10,000	10,000	
イ					貸出冊数((移動図書館分のみ)		₽		43,278	46,926	47,000	47,000	
ウ														
Ø	結り			結果に 付けるのか)	⑧ 上位		果の達成度 表す指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
	地区に 整う	合った	学習る	を行う環境が	住んでいる ^は えている市目	地域の学習を行う環境が 民の割合	整っていると考	%		27.6	29.2	***	***	
イ		-												
(2)	事業	費			単位:千円	(3)事務事業の環								
				24年度 (決算)	25年度 (予算)	① この事務事業1 きっかけで開始	は、いつ頃、。 acanta	どのような ?		事務事業をは5年前とよ				
予	当初	予算額		3,700	3,772	昭和33年に市民の学 国分市立図書館が記				ーネットなどの Eとなってきて				
算額	補正	予算額	i	166	0	年に移動図書館車]が始まった。	ズが多	様化している 、根強い読	5。活字離れ	いが進んでい	ると言わ	
렍	予算·	合計		3,866	3,772					節所が増えた		- U少∀° □	IN CIXIC	
	国庫	補助金		0		③この事務事業1	こ対して誰か	らどんな意		この事務事	業に対する	る議会から	出された	
	県支	出金		0		● 見や要望が寄せる	せられている	5か?		意見				
決算	地方	債		0		小学校では月1回の に待っている。	巡回を児童た	ちが楽しみ	み特になし					
額	その	他		0										
	一般	財源		3,853										
	支出	合計		3,853										

	事業ード	776112	事務事業名	動図書館	運営事業				担当部担当課		,
							/ .1. 1-	**		国分図書館	
		出去. 七田		戊24年度			年度 (当初			26年度 (見込	
1	報	単位:千円 酬	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
2	給	 料									
3		手 当 等									
4	共	<u>, , , ,</u> 済 費									
7		金	3,112		3,112	3,109		3,109	3,109		3,109
8	報	償 費	,			•		,	,		
9	旅	費	103		103						
10	交	際費									
11	需	用 費	462		462	528		528	530		530
	消	耗 品 費									
	燃	料 費	313		313	339		339	340		340
	食	料 費									
		刷製本費									
		熱水費									
	修	繕 料	149		149	189		189	190		190
<u> </u>	/5	75									
12	役	務費	133		133	94		94	92		92
	进広	信運搬費									
	手	<u></u> 告 料 数 料	10		10						
	子保	数 料 険 料	10 123		10 123	94		94	92		92
13	委	託料	123		123	34		34	32		32
14		- R									
15		請負費									
16											
17		財産購入費									
18	備品	購入費									
19	負担金	補助•交付金									
20	扶	助費									
21	貸	付 金									
22		填及び賠償金									
23		利子・割引料									
24		及び出資金 立 金									
25 26	<u>積</u> 寄	<u>立 金</u> 附 金									
27	可 公	- 課 費	43		43	41		41	30		30
28	 繰	出 金	10		43	71		71	30		30
	1215	計	3,853		3,853	3,772		3,772	3,761		3,761
		围									
		県									
	地	方 債									
財	辺	地									
財源中	過	疎 債									
内訳	合	併特例債									
Δ/C	7-	→ 11L									
	そ	の 他 _役 財源	3,853		3,853	3,772		3,772	3,761		3,761
	Ţ	D M 源 計	3,853		3,853	3,772		3,772	3,761		3,761
	b = · · ·	国	0,000		0,000	0,112		0,112	0,101		0,101
*	輔助率	県									
補	助	基本額									
平	当 右	切 予 算			3,700 千円		平成 24 年	度 財源内	訳の「その他	りの内訳	
成		E 予算			166 千円						
24	第1			第5回							
	第2			第6回			参加費等	の事業実施の	のための収え	\説明	
年度	第3			第7回	(a.B.)						
坟	第 4			流用	(6月)	166					
	予算	合 計			3,866 千円	日本教会					/一帆田>

部教育部 事務事業 楘 776112 移動図書館運営事業 事業名 抇 コード 課国分図書館 2 評価の部 **<SEE**> 評価 評価理由 ① 政策体系との整合性 図書館から遠隔地にある地域、住宅、団地、小学校等に移動図 書館車での図書資料の巡回サービスを実施することは、市民の ■ 結びついている ・この事務事業の目的は基本事業の意図 教養と文化の向上を図るための学習環境づくりに結びついてい □ 見直す必要がある (基本シートの結果)に結びつくか? 目 ② 公共関与の妥当性 図書館は、市民の教養と文化の向上を図るための学習支援を 畃 ・この事業をなぜ市が行わなければならない ■妥当である 行う機関であり、移動図書館はその一部である。市民の生涯学 妥 のか? 習の支援として市が実施すべき事業である。 □ 見直す必要がある 当 ・税金を投入して、達成する目的か? 性 ③ 対象・意図の妥当性 ■適切である 評 市民が欲しい情報を得られるように学習環境を整備する必要が □ 対象を見直す必要がある 価 ・対象や意図を限定又は追加すべきか? あることから、対象・意図は適切である。 □ 意図を見直す必要がある ④ 成果の向上余地 □ 向上余地はない 現在、市内82箇所を巡回している。工夫して巡回箇所を増やせ ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向 ば、成果の向上余地もある。しかし、現在の車両、人員体制で (十分に成果が出ている) 上させることができるか? は精一杯である。 ■ 向上余地がある В ⑤ 廃止・休止の成果への影響 有 市民が、図書資料等を利用して情報等を得られなくなり、教養と 影響がある ・事務事業を廃止又は休止した場合にどの 劾 文化の向上に支障が出てくる恐れがある。 ような影響があるか? □ 影響がない 性 評 (他に手段がある場合の事務事業名等) ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ■ 他に手段がない 価 ・目的を達成するためには、この事務事業以 外の手段はないか? □ 他に手段がある ・類似事業との統廃合や連携を図ることによ □ 統合できない □ 連携できない り成果の向上が期待できるか? □ 統合できる □ 連携できる 事業費の削減余地 事業費のほとんどは燃料費、車両修繕費用、車検費用、運転 С ・成果を下げずに事業費を削減できない ■削減余地がない 手の人件費と移動図書館車の維持・運行のための経費である。 か?(仕様や工法の適正化、住民の協力な □ 削減余地がある 現時点においてはこれ以上の削減余地はない。 劾 淧 ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 ただ単に本を積み込んで、巡回するだけではなく、巡回先の利 性 やり方を工夫して事務事業に係る業務時 ■ 削減余地がない 用者の読書傾向等を加味した図書資料の積載が必要である。 間を削減できないか? 評 現行、事業に要する人件費は、少人数で移動図書館用図書の ・成果を下げずに職員以外の対応や委託を 価 □ 削減余地がある 選書、積み込み、運行等を行っており、削減は難しい。 できないか? 9) 受益機会・費用負担の適正化余地 公 移動図書館も全ての市民が利用可能である。また、図書館法第 ■ 公平・公正である 事業の内容が一部の受益者に偏っていて 17条の規定により入館料その他図書資料の利用については無 性 不公平ではないか? 償となっている。 □ 見直す必要がある 評 ・受益者負担が公平公正になっているか? (1)1次評価者(課長)としての評価結果 (2)全体総括(振り返り、反省点) 総 A 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 国分図書館の移動図書館車の更新を行い、また隼人図書館の移動図書館車の巡 回箇所を3箇所(溝辺2箇所、隼人1箇所)増やした B 有効性 □ 適切 ■ 見直す必要がある 巡回先の利用者の読書傾向等を加味した図書資料の積載などに心がけ、利用者 C効率性 適切 □ 見直す必要がある 括 ニーズに配慮した運営に努めた。また、少しずつではあるが利用者・貸出冊数とも 増加している。 D 公平性 適切 □ 見直す必要がある 今後の方向性<PLAN> (1)評価結果にもとづく今後の方向性 (2)廃止又は休止すべきとした場合の理由 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 廃止 □ 休止 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] □ 事業統合·連携 「有効性⑥の結果] ■ 有効性改善(成果向上) 「有効性④の結果] □ 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] 「公平性⑨の結果] □ 公平性改善 □ 現状維持・継続 (3)具体的な改善計画 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか ① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 ② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 ・それぞれの巡回先の利用者の傾向やニーズを踏まえなが 巡回箇所の検討等を行い、移動図書館の利点を生かしながら、利用者や貸出冊数が増 ら、図書館から遠く離れた方々にも同じような読書環境が得らしえるよう運行体制の充実を進める。 ・学校においては、学校司書等と連携しながら利用促進に努 め、本好きな子どもたちが増えるよう環境整備を進める。

評価シート <一般用>

評価对象	干度	平风.	24年度 争一份 争 耒 評	1四 衣	人一般用 > 様:	式1
事務事		776	事務 調土資料収集事業		<mark>担 当 部</mark> 教育部	
⊐-	ド	770	1114 <mark>事業名</mark> 二類科权某事業		<mark>担 当 課</mark> 国分図書館	
政策:	名	4	育み磨きあうまちづくり		<mark>グ ル ー プ</mark> 管理図書グルー	プ
施策	名	5	学習機会の充実		電話番号 45-5111	
基本事	業名	1	学習環境づくり		<mark>内線番号</mark> 3052	
	会計	一角	投会計	± **	□ 単年度のみ	
予	款	10	教育費	事業 期間	■ 単年度繰返(開始年度 S 33 年度~)	
算 科	項	6	社会教育費		□ 期間限定複数年度(~)	
目	目	8	図書館費	似火火石	図書館法 霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例	
	コード	776	5114	条例等	霧島市立図書館の設置及び管理に関する条例施行規則	
関連計	画	霧島	島市教育振興基本計画			

	予 算 科	款項	10	教育費 社会教	音 費		事業期間				区(開始年度 夏数年度(₹ S 33	年度~))
	科 目	目	8	図書館			根拠法令・	図書館	法			田)ヶ田一トフク	7 <i>[</i> Ta]	,
		コード		114			条例等	霧島巾 霧島市	立図事	館の	設置及び管理 設置及び管理	生に関するst 里に関するst	R例 R例施行規則	[I]
	関連討				興基本計画									
1.	現状抵	巴握	(1)事	務事業の	目的と指標	<do></do>						4左东南经	-	
1	手段	と (事業	8事業(の概要)							平成2	4年度実績	Į .	
	、鹿児				整理、保管を 関する書籍資	を行う。 資料や地誌等を収集、	整理し、閲覧	、貸出等	等に供	主な	事務事業の	概要と同様		
										活動	平成2 前年度と同	2 5年度計画 様	Ī	
2	活動	指標(事務事	業の活動量	:)				単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	収集し	た郷土	資料冊	 数					冊数		281	296	300	300
1														
ウ		(∌⊬-	/			(<u>0</u> 440	上 キ ナ ナ・				23年度	24年度	25年度	26年度
3	対		、何を 象にし	ているのか)	④ 対象	指標 ^(③対象の) 表	大ささを (す指標)		単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア	市民				人口				人		127,365	127,475	128,362	128,861
1														
ゥ														
		w (対	象を		@ + =	比据 (⑤意図の			34 IT		23年度	24年度	25年度	26年度
		X (X)		したいのか)		11 保 達成度	を表す指標)		単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
ア		がに触れるから気持ちや		やし、ふるさとを 、を育てる。	郷土資料	の貸出冊数		₩			1,075	1,374	1,400	1,400
1														
ゥ														
7	結!		んな結		⑧ 上位		果の達成度		単位		23年度	24年度	25年度	26年度
マ	地区に			けるのか) 行う環境が		る地域の学習を行う環	表す指標) :境が整って		%		(実績) 27.6	(実績) 29.2	(見込) ***	(見込) ***
	整う。				いると考え	ている市民の割合			/0		21.0	23.2	1-1-1-1	1,-1,-1
1	The Alle	## <u></u>			¥4 7 E				Arbe					
(2,	事業	貫	,	24年度	単位:千円 25年度	(3)事務事業の取っている。					事務事業を	取り巻く環	境は、開始	文 時期又
				(決算)	(予算)	^{・・} きっかけで開始	台されたのか	?		2	は5年前と	比べてどう	変わったの	か?
予		予算額		153	138	昭和33年の国分図 歴史的、文化的資料	斗を後世に引き		めに	6町を	7年の合併に 対象に、歴史			
算額		正予算		0		事務事業が始まった	-0			た。				
ᆈᆽ	予算	合計		153	138									
	国庫	補助金		0		②この事務事業Ⅰ	こ対して誰か	らどん	か音	-	この事務事	業に対する	5議会から	出された
	県支	出金		0		③ 見や要望が寄	せられている	か?	, .O. ,E.		意見	*(-\)	иж д 70 ° 51	шслоге
決算	地方·	債		0		特になし				特にな	2L			
算額	その	他		0										
	一般	財源		149										
	去出	스타		1/10										

事務	8事業	776114	事 務 第	『土資料収	集事業				担当部		
	ード								担当課	国分図書館	
		24 7 2		成24年度			5年度 (当初			26年度 (見込)	
-1	±σ	単位:千円	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助 合計	
2	報給										
3											
4		<u>于 ョ 寺</u> 済 費									
7	 賃	<u></u> 金									
8	 報										
9	旅										
10	交										
11	<u>~</u> 需		149		149	138		138	138	1	138
' '		耗品費	143		143	128		128	128		128
	燃	料費									
	食										
		刷製本費	6		6	10		10	10		10
		熱水費									
	修	繕 料									
12	役	務費									
		信運搬費									
	広	告 料									
	手	数料									
	保										
13	委	託 料									
14		及び賃借料									
15		請負費									
16		材料費									
17		財産購入費									
18		購入費									
19		補助・交付金									
20	扶	助費									
21	貸	付 金									
22		填及び賠償金									
23		利子・割引料									
24 25		及び出資金 立 金									
26	寄	 附 金									
27	可 公	課費									
28	 繰	出 金									
	1914	計	149		149	138		138	138	1	138
		玉									
		県									
	地	方 債									
財	辺	地 債									
財源	過										
内	合	併特例債									
訳											
	そ	の他									
	<u> </u>	投 財 源	149		149	138		138	138		138
		計	149		149	138		138	138	1	138
*	甫助率	国									
補	助	県 基本額									
\vdash					159 A.M	1	π dt 04 f	主座 股海点	訳の「その他	h i O th =0	
平成		切 予 算E 予 算			153 千円	<u> </u>	十八 24 年	+皮 別源内	がいての他	がいる。	
	第 1			第5回							
24	第2		-	第6回		 	参加费笙	の事業実施が	のための収え	人。一	
年	第3			第7回			シ/川貝 寸	ソサネ大心	·//_U/U/4X/	へいたづ」	
度	第 4			第8回							
		算合計		NO E	153 千円						
	1 5	. [[]			100 1	日ナ交ぐ・一	_			/_前	

部教育部 事務事業 楘 776114 郷土資料収集事業 事業名 抇 当 コード 課国分図書館 評価 評価理由 2 評価の部 **<SEE>** ① 政策体系との整合性 郷土に関する資料を収集、整理、保存し、市民がこれを利用す ■ 結びついている ることで郷土への理解と愛着を深めることができ、地域について ・この事務事業の目的は基本事業の意図 の学習を行う環境整備に結びつく。 □ 見直す必要がある (基本シートの結果)に結びつくか? 目 ② 公共関与の妥当性 郷土資料の利用は市民はもとより図書館利用者全員を対象とし 的 ・この事業をなぜ市が行わなければならない ■ 妥当である ており、広く誰でもが利用できる。図書館法にも郷土資料を収集 妥 のか? し、利用に供することは図書館奉仕の一部であると記してある。 □ 見直す必要がある 当 ・税金を投入して、達成する目的か? 性 ③ 対象・意図の妥当性 ■適切である 郷土資料の利用者は市民を中心に学習意欲のある不特定の 評 □ 対象を見直す必要がある 方々である。また、館内の利用は誰でも自由にでき、特定、限 価 ・対象や意図を限定又は追加すべきか? 定できない。 □ 意図を見直す必要がある ④ 成果の向上余地 □ 向上余地はない 継続した資料収集や資料配置、資料展示方法などを改善する ・成果指標の現状値をあるべき水準まで向 (十分に成果が出ている) ことにより、成果の向上が期待できる。 上させることができるか? □ ト余地がある В ⑤ 廃止・休止の成果への影響 有 統計的な地域情報は継続して収集、保存する必要がある。郷土 影響がある ・事務事業を廃止又は休止した場合にどの 劾 の歴史的、文化的資料を次世代に引き継ぐことができなくなる。 ような影響があるか? □ 影響がない 性 評 (他に手段がある場合の事務事業名等) ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 ■ 他に手段がない 価 ・目的を達成するためには、この事務事業以 外の手段はないか? □ 他に手段がある ・類似事業との統廃合や連携を図ることによ □ 統合できない □ 連携できない り成果の向上が期待できるか? □ 統合できる □ 連携できる 事業費の削減余地 С 事業費は、消耗品(資料代、資料保存用品等)、資料製本代で ・成果を下げずに事業費を削減できない ■削減余地がない か?(仕様や工法の適正化、住民の協力な あり、削減の余地はない状態である。 □ 削減余地がある 劾 淧 ⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 郷土資料は地理、歴史等を含む広範な分野にまたがっており、 性 やり方を工夫して事務事業に係る業務時 ■ 削減余地がない 資料収集等に関しては専門的な知識が必要とされる場面もあ 間を削減できないか? 評 る。しかし、専門的な知識を有する者はおらず、兼務で実施して ・成果を下げずに職員以外の対応や委託を 価 □ 削減余地がある いるのが現状である。 できないか? ③ 受益機会・費用負担の適正化余地 公 収集、整理、保存された郷土資料は、全ての市民が利用可能 ■ 公平・公正である ・事業の内容が一部の受益者に偏っていて であり、図書館法により図書館資料の利用に関しては無償と 性 不公平ではないか? なっている。 □ 見直す必要がある 評 ・受益者負担が公平公正になっているか? (1)1次評価者(課長)としての評価結果 (2)全体総括(振り返り、反省点) 総 A 目的妥当性 ■ 適切 □ 見直す必要がある 郷土資料は禁帯出(原則貸し出しができない)の図書資料が多いため、禁帯出本を ■ 見直す必要がある B 有効性 □ 適切 市内の図書館、図書室間で相互に貸借し、館(室)内で閲覧ができるように継続して C 効率性 画 滴切 □ 見直す必要がある 括 行った。また、郷土資料コーナー等の表示を改善し、利用促進に努めた。 D 公平性 適切 □ 見直す必要がある 3 今後の方向性<PLAN> (1)評価結果にもとづく今後の方向性 (2)廃止又は休止すべきとした場合の理由 [目的妥当性①②、有効性⑤の結果] □ 廃止 □ 休止 「目的妥当性①②、有効性⑤の結果〕 □ 目的再設定 [目的妥当性①③の結果] □ 事業統合・連携 [有効性⑥の結果] ■ 有効性改善(成果向上) [有効性④の結果] □ 効率性改善(コスト削減) [効率性⑦⑧の結果] □ 公平性改善 「公平性⑨の結果] □ 現状維持・継続 ※(1)のチェック項目に対し、具体的にどのように取り組むのか (3)具体的な改善計画 ① 平成25年度の取組み概要及び期待される効果 ② 平成26年度に取り組むべき具体的な内容 郷土に関する出版情報を的確に把握し、必要なものを確実 継続した資料収集の実施及び収集した資料が配架されている場所が、必要としている 利用者に容易にわかるような表示等の工夫をしたりして、市民に広く利用してもらえるよう こ収集する また、収集した資料の展示方法の改善などにより、利用しや に努める。また、郷土資料に関する情報収集を進める。 すい環境を作っていく 大隅国建国1300年に関連した資料の展示コーナーを新た に設置する。

評価シート <一般用>

評価对象	牛皮	平成 2	24年度		争 務		<u>果</u>	計	1四	衣	<u><一般用></u>					棣式1
事務事		776	110	事 務	図聿領	馆運営	車業					担	当		教育部	
□	*/	770	1110	事業名	Ω Ω	证廷占	尹木					担	当	誹	国分図書館	
政策:	名	4	育み	メ磨きあう	まちづく	り						グ	ル・	ーフ	管理図書グル	/一プ
施策	名	5	学習	機会の	充実							電	話者	番号	45-5111	
基本事	業名	1	学習	習環境づ	くり							内	線	番号	3052	
	会計	一角	股会計						=	- AIK	□ 単年度のみ					
予	款	10	教育	育費					事	業間	■ 単年度繰返 (開始:	年度	Ę	S 3	3 年度~)	
予 算 科 目	項	6	社会	会教育費					79.	111-1	□ 期間限定複数年度	(^)	
目	目	8	図書	善館費						法令∙	図書館法					
	П Т	776	5111						条件	列等	霧島市立図書館の設置及び	管理	里に関	する	条例、同条例施	行規則
関連計	画	霧島	島市教育	『振興基本	計画、霧	島市子	ども詩	売書活	動推進	計画						
	- 1-	4			1 De les											

	Ħ		8 凶音度 776111	資		根拠法令・ 条例等	図書館法 霧島市立図書	生館の記	設置及び答:	単に関する3	各例 同多例	施行担則
	 関連計			爾基太計画	霧島市子ども読書活!		<i>хэ</i> у ш, 11, эд Да <u>г</u>	3 VD 4 > 1	(人)	王(四天) / 3/	KNI PIZKVI	196 1 /90 8.1
	現状把		_務 圖巾软育級 Ⅰ)事務事業 0			動作 医可固						
_				ノロロソニが	LD0				平成2	4年度実績		
市ひにま屋、	内に国 る。公 応じた た、未 新聞等	分・隼人図 共図書館と 資料の提 所蔵資料に の書籍の	としての役割を 供を行う。 こ対する購入希 紹介)等にも目	果たすために 望状況、予約 を向けながら	島・福山図書室の2図 多様な資料の整備に の状況等や図書の出 購入を進めたり、相互	努め、幅広い 出版状況(ベス 貸借での対応	年齢層の方た トセラーの把 で利用者の	主な	事務事業の	概要と同様		
貸	出冊数	5冊以片		間…15日以内	行う。さらに、図書館が 3 ・貸出対象者… る方			活動	前年度と同っ			
2	活動技	指標 (事刻	務事業の活動量	赴)			単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	入館者						人		281,403	264,409	270,000	275,000
イ	蔵書冊	数					₩		392,996	401,668	407,000	412,000
ゥ ©		■ (誰、)	何を	(A) +1/4°	16.15 (3)対象の	大きさを	24 14		23年度	24年度	25年度	26年度
	対		にしているのか		指條 表	(す指標)	単位		(実績)	(実績)	(見込)	(見込)
イ	市民			人口			人		127,365	127,475	128,362	128,861
コウ												
	意	文 (対象	!を どうしたいのか	(6) 成果	指標 (⑤意図の 達成度を	を表す指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	欲しい	情報を市民	民が得られる	貸出者数((移動図書館を除く)		人		112,714	110,692	112,000	113,000
イ				貸出冊数((移動図書館を除く)		₩		387,737	377,815	380,000	385,000
ウ												
		未 結	な結果に iび付けるのか)		队采担保 を表	果の達成度 表す指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)
ア	地区に 整う	:合った学 ²	習を行う環境が	住んでいる ^は えている市目	地域の学習を行う環境が 民の割合	整っていると考	%		27.6	29.2	***	***
イ				W.I								
(2	事業	頁		単位:千円	(3)事務事業の恐				+ 7h + 11k /	T- (124 / - m	1本に 88 (, n+ #n
			24年度 (決算)	25年度 (予算)	① この事務事業 [きっかけで開始	台されたのか	?	(2)	事務事業をは5年前と	北べてどう	変わったの	か?
予		予算額	48,736	61,080	昭和33年に市民の登め、国分市立図書館			が可能	ーネットなど(Eとなってきて	おり、個人-	一人ひとりの	情報ニー
算額	補正 ⁻	予算額 一	632 49,368	61,080					様化している 、根強い読			ると言わ
	」,升		40,000	01,000								
		補助金	0		③ この事務事業 目 見や要望が寄	こ対して誰か	らどんな意		 この事務事 意見	業に対する	る議会から	出された
決	県支に 地方(0		利用者から、図書館	(室)の蔵書を	増やしてほし	特にな				
算額	その何	-	71		い、開館時間を早めしてほしい、学習室の	て欲しい、開か	館時間を長く		-			
렍	一般		48,943		蔵書、運営方法、施			00				
	支出		49,014									

	第事業 一ド	776110	事務図	書館運営事	 ≨ 業				担当部担当課	教育部	- A亡
				· · · · - · · /	*± /**	- 4·	/ 1/ 1-	7 Mr.\		国分図書	
		24 7 m		24年度(5年度 (当初			26年度(5	
1	報	単位:千円 酬	単独	補助	合計	単独	補助	合計	単独	補助	合計
2	 給										
3		手 当 等									
4	共										
7	<u>六</u> 賃	<u>// 貝</u> 金	9,560		9,560	18,751		18,751	18,751		18,751
8	 報		3,000		3,300	10,101		10,701	10,701		10,701
9	 旅	費	29		29	39		39	20		20
10			20		20				20		20
11	需	用費	17,421		17,421	17,410		17,410	17,492		17,492
	消	耗品費	12,919		12,919	12,968		12,968	12,950		12,950
	燃	料 費						· ·			
	食	料 費									
	印	刷製本費	23		23	36		36	36		36
	光	熱水費	3,832		3,832	4,306		4,306	4,306		4,306
	修	繕 料	647		647	100		100	200		200
12	役	務 費	848		848	783		783	785		785
		信運搬費	798		798	735		735	735		735
	広	告 料									
	手	数料	6		6	6		6	6		6
	保	険 料	44		44	42		42	44		44
13	委	託 料	19,283		19,283	8,220		8,220	8,220		8,220
14		及び賃借料	753		753	730		730	730		730
15		請負費				14,000		14,000			
16	原材		20		20	30		30	30		30
17		才産購入費									
18		購入費	1,100		1,100	1,100		1,100	1,100		1,100
19		補助・交付金				17		17	5		5
20	<u>扶</u> 貸	<u>助 費</u> 付 金									
21											
22		填及び賠償金 ── 利子・割引料									
24		なび出資金									
25	積	<u>立</u> 金									
26	寄	 附 金									
27	公	課 費									
28	 繰	出金									
		計	49,014		49,014	61,080		61,080	47,133		47,133
		围									
		県									
	地	方 債									
財	辺	地 債									
源	過	疎 債									
内訳	合	併特例債									
八											
	そ	の他	71		71	67		67	67		67
	<u> </u>	y 財源	48,943		48,943	61,013		61,013	47,066		47,066
		計	49,014		49,014	61,080		61,080	47,133		47,133
	甫助率	国									
1 1	П÷	基 本 額									
補					10 500 7 11			de alecti	=0 0 5 7 0 11	· · · · · ·	
平		<u> </u>			48,736 千円	 			訳の「その他		
成		E 予算		年 - 戸	632 千円		りま】 電話使足 雑 λ 国	用料(隼人図 別書館答料.っ	書館) 1,760円 ピー代(国分・	 隹人図聿給\	68 580 ^{III}
24	第 1				(9月)	800					00,000F1
年	第2			第6回		<u> </u>	参川賀寺 (の争果実施	のための収入	就明	
度	第 4			第 7 回 流用	(6月) 🔺	168					
		章 合 計			49,368 千円	100					
	1, 9	- II II			10,000 1	財務シ-					<一般用 `

	務事業 コード	776110	事 務 事業名	図書館運	営事業					<u>担</u> 担			<u>(育部</u>]分図書館	
		部 <see></see>	3 217 1			評価				, <u> </u>	一		177141 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	
		策体系との整				н і іш		多種多様	か図書資料等				収集、整理、保	存等を
Α	(基	の事務事業の 本シートの結り	果) に結びつく		■ 結び [*] □ 見直 [*]	ついてい <i>。</i> す必要が		行い、市民		もらうこ	ことは、i	市民	その教養と文化の	
目的妥	٠.	共関与の妥当 の事業をなぜī か?		ればならない	■妥当		± -7	行う機関で	である。地域の	の情報	の拠点	i、読	図るための学習 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	科等各
当	• 秭	色金を投入して、		内か?	□ 見直 ⁻ 		ある	べき事業						, ,
性評	③ 対	象・意図の妥	当性		■ 適切・								あり、市民と図書	
価	· 太	象や意図を限	定又は追加す	上べきか?	□対象を	を見直す	必要がある		ている。利用者 t妥当である。		実した	情報	提供や利便性の	の向上を
	(A) F#	果の向上余均	ı.		□意図	を見直す	必要がある							
В	•成 上	え果指標の現状 させることができ	さ値をあるべき; きるか?				が出ている)	配架を行うるのか把握た、広報記	う。また、リクコ 星でき、それり	エスト等 に伴い より等	等を受け ・資料の	ナるこ)購フ	方法についてもことでどのような野入、相互貸借を行図書の紹介や行	要求があ 亍う。ま
有効性	· 事	止・休止の成 孫事業を廃止 かな影響があるた	又は休止した		■ 影響: □ 影響:				図書資料等を 上に支障が6				を得られなくなり る。	、教養と
評	⑥ 類	似事業との舒	·廃合·連携	の可能性		T TO. 184.			(他に	_手段;	がある場	易合の	の事務事業名等	<u>;</u>)
価	·	的を達成する	ためには、この			手段がな			.,	*				
	・類 りd	の手段はないか 類似事業との統成 以果の向上が期	廃合や連携を 明待できるか?				い □連携							
С	· 成	業費の削減 注果を下げずに	事業費を削減			余地がな			種多様な要望		え、現る	在の	運営を維持して	いくた
効	ど)				□ 削減:	余地があ	る	めたは、月	川のパよ四栗	:める。				
率		件費(延べ業 り方を工夫して			2 2012 2013	∧ 1/L 1%+ ~							部分を省き、効率 がでてくる可能性	
性評	間	を削減できない	か?			余地がな	۲۰	が、利用者	者にとっては位	便利な	ネット核	負索.	、ネット予約等の	IT化も
価		え果を下げずに きないか?	職員以外の対	r応や委託を	□削減	余地があ	る	人の関わる。	りが必要であ	り、経	費、業務	務時	間等の削減は困	団難であ
D		益機会・費用	負担の適正	化余地										
公平		4業の内容が一		こ偏っていて	■ 公平・	公正であ	5る						ので公平である の他図書資料の	
性評価		公平ではないか		っているか?	□ 見直	す必要が	ある		無償となって		. , , , , , , ,	,,,		7 37 13 (=
Щ	(1)1	次評価者(課	長)としての	評価結果		(2)全	体総括(振	り返り、反	(省点)					
総	Αl	目的妥当性	■ 適切	□ 見直す必		入館者	"数、貸出冊	数、貸出者	数は前年度	と比較	記、若=	干減	シしている。特に	۲7 ٠ 11
		有効性	□ 適切		必要がある	月及て	ド20~30歳代	代の利用者:	が減少してい	る。し	かし、ホ	<u></u> 2	ムページの検索	件数は
括		効率性	■ 適切		必要がある				st似を喚起す 〈必要がある。		(よ)(3) (1)	賃科	中の購入、館内の	分田式
	l	公平性	適切	□ 見直す必	必要がある									
		<mark>方向性<pl< mark=""> ま果にもとづく</pl<></mark>		. M-			(の) 底 i L T	7 (ナ/ナ (ト オ	ナベきとした	. 担. 스	の理け	-		
(1)	一廃.	-		·当性①②、有	対性(5)の	結果〕	(と)廃止り	CIGMT		-物口	の埋巾	-		
	□休			·当性①②、有										
		的再設定	= :	的妥当性①③										
		業統合•連携 効性改善(成果	=	効性⑥の結果 効性④の結果	_									
	_ :::	効性以善(成果 率性改善(コス)		変性(7)8の結	_									
		平性改善		平性⑨の結果										
	□ 現	伏維持•継続 -												
(=)			\#/											
		<mark>りな改善計画</mark> 5年度の取組る		<mark>(1)のチェック</mark> 脚待されるか					<mark>じのか</mark> き具体的な	心内宓	!			
		ロースの取組の じた館内展示の)案内 図	書資料の	選定にあた	っては、図	書館にない資	資料(フ	本等)の	購え	入希望状況、予約	約の状
チラトに貸債	シを作品 より多くは たの充実 を生以上	找し、図書館利。 芯えられるように を図る。 を対象とした図	用を促す。またこ横断検索シンコ書館ボランテ	た、利用者のリステムを活用し マテムを活用し マアの養成講	Jクエス 況 レ相互 の 広 座を開 努	等の数値 書籍の紹 報誌、図 める。	i的なものを 3介)等を参え 書館だより、	活用すると。 考にした図 ホームペー	ともに、図書の書資料等ので きないである。	の出版 確保を 各種イ	坂状況(∽ ・図る。 ベント情	ベス	トセラーの把握、 等を発信し、利用	新聞等
催しる。	、凶善飢	官をより身近に原	恐し(もらえる)	よりな沽動を剝	た他す「市	氏か利用	けしてすい区	香耜、図書	喜づくりを進	Eめる。				
隼人		の駐車場の整 実を図る。	備及び空調設	は備改修を行い	八学									
1														

評価シート <一般用>

	1 12	1 /% 2-1-	12	T 177 -	, 	3	へ 水加ノ					1水工()
事務事		776111	事務	図書館読	書推進事業			担			教育部	
그ᅡ	`		事業名					担	当	課	国分図書館	
政策	名	4 育	ずみ磨きあう	まちづくり				グ	ル・	ープ	管理図書グル	ープ
施策	名	5 学	営機会の	充実				電	話者	番号	45-5111	
基本事	業名	2	学習活動の	推進				内	線	番 号	3052	
	会計	一般会	計			± **	□ 単年度のみ					
予 算 科	款	10 拳	女育費			事業 期間	■ 単年度繰返 (開始	1年月	复	S 33	年度~)	
异 科	項	6 社	上会教育費			Milei	□ 期間限定複数年原	复(~)	
目	田	8 🗵	書館費			根拠法令•	図書館法第3条、子どもの					
	コード	776111				条例等	霧島市立図書館の設置及	び管理	理に関	する	条例、同条例施行	 方規則
関連計	関連計画 霧島市教育振興基本計画、霧島市子ども読書				7子ども読書活	動推進計画						

		会計	<i>─</i> ∮	股会計			古 **	□単年周	度のみ	Ļ				
	予 算	款	10	教育費			事業 期間	■ 単年月	度繰返	(開始年度	夏 S 33	年度~)	
	异 科	項	6	社会教	育費		******	□ 期間!	艮定複	数年度(~)	
	目	目	8	図書館	費		根拠法令・	図書館法第3						
		コード		3111			条例等	霧島市立図書	書館の 語	設置及び管理	理に関する剣	条例、同条例	施行規則	
	関連計					霧島市子ども読書活!	動推進計画							
1.	現状把	9握	(1)	務事業の	目的と指標	<do></do>					4.左连由经	E		
1	手 段	と (事業	务事業	の概要)						平成2	24年度実績	Į.		
学開ゲブ集教	活動の 催行事 クスター (室、か)推進を 等】 -ト、おい らくり絵	と図る。 はなし: 本教3	会、おはなし を、植物名付	の部屋、緑陰 けけ会、司書研	味、様々な学習への身 禁読書、子ども読書の 所修会、学校司書と読	日、植物採集	教室、昆虫採	主な活		が概要と同様 2 5年度計 画			
おは	なし王	国、図書	書館だ	より等の作用	成、配布等				動	前年度と同		4		
2	活動技	指標(₹	事務事	業の活動量	<u>t</u>)			単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	行事の	開催回	数					田		262	227	230	240	
1														
ゥ														
3	対 拿		i、何を 象にし	: ているのか)	④ 対象:	指標 (③対象の表表	大きさを そす指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
ア	市民				人口		人		127,365	127,475	128,362	128,861		
1														
ゥ														
⑤	-	겍		したいのか)		指標 (⑤意図の 達成度を	を表す指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
		だけ多く ってもら		民に読書に身	読書に興味	未を持った参加者数		人		7,242	7,074	7,100	7,200	
1														
ゥ														
7	結り		んな結 結びf	i果に 寸けるのか)	8 上位		果の達成度 表す指標)	単位		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (見込)	26年度 (見込)	
	自身の が得ら		に沿っ	た学習機会		わない理由として、自身のテ ことをあげている市民の割合		%		15.1	16.3	***	***	
1			IJ			を行わない理由として ないことをあげているī		%		22.8	21.8	***	***	
(2)	事業	費			単位:千円									
				24年度 (決算)	25年度 (予算)	① この事務事業 日 きっかけで開始				事務事業をは5年前と				
予	当初	予算額	_	685	681	多くの市民に読書に 活動を推進するため				媒体の情報よりインターネットなどの新たなメディア 通じた情報の取得が重要視されてきているが、や り幼少時期から絵本や児童書に接することが見直 れている。また、親子読書活動など本を通した心の				
算額		予算額	į	0		とともに開始された。			されて					
	予算1	合計		685	681				ふれあ	いが、現代	社会の中で	重要視されて	てきている。	
		補助金		0		③ この事務事業	こ対して誰か	いらどんな意		この事務事	業に対する	る議会から	出された	
決	県支は			0		一見や要望が寄っ ブックスタートの取組			,	意見 9年第1回定	例会「ブッカ	スタートか今	計的に取	
次 算額	地方の			0		ている。	414、小咬仕り		り組ん	3年第1回足 でほしい。」 2年第2回定				
額	その作			0						2年第2回足 てほしい。」	「四云「ピルン	アノツグ争身	トツ夫他を	
	一般原			682										
	支出1	古計		682		I								

	8事業	776111	事務	図書	館読書丼	推進事 章							当部		
コード / //0111											担	当 課			
		24 T.D		成24	4年度 (. = 1		戈25	年度 (当初				26年度	
-	報	単位:千円 酬	単独		補助	Ê	計	単独		補助	合計		単独	補助	合計
2	給														
3		. 手 当 等													
4	共	<u> </u>													
7	賃	金													
8	報	償 費	4	9			49		52		52		52		52
9	旅	費							2		2		2		2
10	交	際費													
11	需	用 費	63				633		27		627		627		627
	消		63	3			633	62	27		627		627		627
	燃	料費													
	食	料費													
		刷製本費													
	光修	熱水費													
	11多	繕 料													
12		務 費													
'_		信運搬費													
	広	告 料													
	手	数料													
	保	険 料													
13	委	託 料													
14	使用料	及び賃借料													
15	工事	請負費													
16		材 料 費													
17		財産購入費													
18		購入費													
19		補助•交付金													
20	扶	助費													
21	貸	付 金													
22		填及び賠償金 利子・割引料													
24		及び出資金													
25	積	<u>立</u> 金													
26	寄	 附 金													
27	公	課 費													
28	繰	出 金													
		計	68	2			682	68	31		681		681		681
		玉													
		県													
	地	方 債													
財	辺	地債													
源中	過	疎 債													
内訳	台	併特例債													
	そ	の他													
			68	2			682	69	31		681	H	681		681
	,	計	68				682		31		681		681		681
	.b.e.i →	国	30	_			302	- 00	_		001		001		001
*	甫助率	県													
補	助	基本額													
37	当	切 予 算				685	千円			平成 24 年	F度 財源内]訳(の「その他	りの内訳	
平成		E 予 算					-								
24	第 1	□		ŝ	第5回										
	第2				第6回					参加費等	の事業実施	のた	めの収え	入説明	
年	第3			_	第7回										·
度	第 4			ĝ	第8回										
	予算	算 合 計				685	千円								

	務事業コード	776111	事務 図書館読		書推進事		担当 部 数育部 担当 課 国分図書館						
2	評価の語	部 <see></see>				評価		評価理由					
	① 政策	6体系との3	整合性			_		で書行事等への参加を通して読書への興味を興し、併					
Α	・この /#:	り事務事業の	目的は基本事	事業の意図		■ 結びついている せて様々な学習への興味を喚起することは「自身のラ 沿った学習機会が得られる」ことに結びついている。							
目		キリードの結果 は関与の妥当	果) に結びつく 业 M	(1)4?	□ 見胆 9	必要かめる	伯つた子	省域去が何られる」ことに指し、フィー(いる。					
的			ヨ性 市が行わなけ	れげたらたい	■ 妥当で	■ 妥当である 図書館法及び子どもの読書活動の推進に関							
妥	のか	?				必要がある		進を自治体が行うことが求められている。					
当 性			、達成する目的	的か?									
評	③ 对 3	東・意図の妥	(当性		■ 適切で		古民科	†象として、できるだけ多くの人に読書活動に興味を					
価	·対:	象や意図を限	定又は追加っ	ナベきか?	□ 対象を	見直す必要がある		うることで、 Cさるにけ多くの人に記音冶動に興味を らうことを意図としており、適切である。					
					□ 意図を	見直す必要がある							
	4 成身	見の向上余け	地			図書館(宏)レボランティアがループ笠が連携をLN 誌							
	• ht	果指標の現場	犬値をあるべき	水準まで向	┃ □ 向上余 ┃ ・(十分)	・地はない こ成果が出ている)	おはなし	会等の活動の場を増やしたり、館内見学等の受け入					
l_		せることができ		が中かく同	■向上余			書館が身近な施設と感じてもらい、おはなし会などにり っかけを作ること等で成果の向上が期待できる。					
В	~ -				■ 四土ホ	・地心のつ	と使みで	シャル を上のことなるが火の両工が強いている。					
有	(5) 廃土	L・休止の尿	は果への影響	P	■ 影響が	、	詰 妻	生活動を廃止、休止した場合、読書離れが進み、教育					
劾			:又は休止した	:場合にどの				可上に支障が出てくる恐れがある。					
性評		な影響がある			□影響が	valv							
価			<mark>充廃合∙連携</mark>		■ 他に手	段がない		(他に手段がある場合の事務事業名等)					
		りを達成する)手段はないか	ためには、この か?	り事務事業以	 □ 他に手	むがある							
			廃合や連携を			合できない □ 連携	できない						
			明待できるか?		□ 統領	合できる □ 連携	できる						
С		美費の削減	余地 事業費を削減	むできたしい	■削減余	- tıh 48+>1 \	事業費け	は、各行事等の報償費、旅費、消耗品費であり、これら					
			よの適正化、住		□削減余			成は難しい。					
効	(날)	4 弗 / 7元 ☆ 坐	- 3女 0土 88 1 (小)			(167) (9) (9)							
率性			養務時間)の で で事務事業に		■削減全	■ 削減余地がない 必要最低限の企画、運営業務にしか職員は携わっ							
評	間を	削減できない	'カジ?				ほとんどがボランティアの方々の協力を得て事業を実施しているものであり、業務時間の削減余地はない状態である。						
価		果を下げずに ないか?	エ職員以外の対	対応や委託を	□ 削減余	地がある							
D	,	04.10	負担の適正	化金地									
公平			一部の受益者に		■ 公平・2	公正である		生事業の受益者は図書館の利用者、おはなし会等の					
性 評	不少	や平ではないな	∂>?		□ 目庙よ	必要がある		っるが、すべての市民を対象として呼び掛け、実施して 、公平である。					
価			公平公正になっ										
			長)としての	評価結果		(2)全体総括(振	り返り、反	豆省点)					
総	Α目	的妥当性	■ 適切	□ 見直す必	必要がある	市内7カ所で宝旛)	ている詩	書まつりの内容充実に努め、子どもから大人まで誰も					
	B 有	「効性	□ 適切	■ 見直す必	必要がある	が気軽に集い楽し	めるように	努めた。また、ブックスタートで手渡す絵本を本年度が					
括	C 效]率性	■ 適切	□ 見直すぬ	必要がある		より、さらに乳幼児が興味や関心をしめすようになってきており、よいとの大切さを認識してもらう機会となっている。						
	D公	:平性	■適切	□ 見直す必	必要がある	一首、木(こ)以(いる)		C C BUINC C C C C C N X X C X V V V V V V V V V V V V V V V V					
3	今後のフ	方向性 <pl< th=""><th>AN></th><th></th><th></th><th></th><th></th><th></th></pl<>	AN>										
(1)	評価結	果にもとづく	〈今後の方向				スは休止す	すべきとした場合の理由					
	□ 廃业			·当性①②、有									
				·当性①②、有		果」							
]再設定 禁統合•連携	= :	的妥当性①② 効性⑥の結果	· · · · · · · · -								
		《机合·建榜)性改善(成集		効性()の結束 う効性()の結果	_								
		近はい音(成え 区性改善(コス			=								
	□公平			·平性⑨の結界	· · · =								
	□ 現状	t維持•継続											
						<u> </u>							
		な改善計画				、具体的にどのよ							
小学習として	生の社会 などを通 ていく。 タ	会科見学等の じて、読書推 気軽に身近な の、市内7箇所	み概要及び 図書館利用、 進や図書館の それぞれの図 で開催してい	中学生の職場)活用等につい 書館、図書室	湯体験 読み いて啓 支払 を利用 一体	ヶ聞かせボランティブ 爰に努める。また、フ	アグループ ゛ックスター	べき具体的な内容 『等との連携を図り、読書推進の取り組みの充実や活動 ・トの内容について、各図書館・図書室、ボランティアが ・か、各団体が実施しているおはなし会の情報提供など ・か。					

事務事		776111	事 務事業名	図書館読書推述				担当 部 教育部 担 当 課 国分図書館					
1. 2 ½		価	予 术·日					122	<u> </u>				
			見性と出来具	合									
① 記述		記述不足で気	うかりにくい 足のところがあ	表記が、表記で選択 る	選択) ② 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) □ 客観性を欠いており評価が偏っている (事務事業の問題点、課題が認識されていない) □ 一部に客観性を欠いたところがある ■ 客観的な評価となっている								
2) 2次	評価				1次	111111111111111111111111111111111111111	2次評価						
Α		政策体系と	の整合性		結びついている				すびつい	• •			
目的		公共関与の			□ 見直す必要がある ■ 妥当である □ 見直す必要がある			□ 見直す必要がある■ 妥当である□ 見直す必要がある					
妥当性	3	対象・意図(の妥当性		適切である 対象を見直す必要 意図を見直す必要			■ 適切である □ 対象を見直す必要がある □ 意図を見直す必要がある					
В	_	成果の向上			□ 向上余地はない (十分に成果が出ている)■ 向上余地がある■ 影響がある			□ 向上余地はない (十分に成果が出ている)■ 向上余地がある■ 影響がある					
有	⑤ .	廃止・休止(の成果への		影響がない			□影	響がない	. 1			
効 性	6	類似事業と 統廃合・	の 連携の可能	性	■他に手段がない□他に手段がある□統合できない□統合できる□連携できる			■ 他に手段がない □ 他に手段がある □ 統合できない □ 連携できない □ 統合できる □ 連携できる					
C 効 率 性	⑦ 事業費の削減余地 ⑧ 人件費(延べ業務時間)の 削減余地				■ 削減余地がない□ 削減余地がある■ 削減余地がない□ 削減余地がある			■ 削減余地がない□ 削減余地がある■ 削減余地がない□ 削減余地がある					
D 公平性	9	受益機会•	費用負担の		■ 公平・公正である				■ 公平・公正である				
公平性	適正化余地 A 目的妥当性				□ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある				□ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある				
総 括	B 有効性 C 効率性 D 公平性				□ 適切 ■ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある 必要がある」と評価した項目について理由を記			□ 適切 ■ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある ■ 適切 □ 見直す必要がある					
A 目的系 B 有効f C 効率f	性		との利用者や1	章がい者の方々にも	利用しやすい環境	そづくりに努	めることにより	、有効化	性を向上	させること	ができる。		
4)标准	金士 日	ョニキ レベノ	今後の方向 [・]	#- I	1 次 評 価				2 次 評 価				
+/ 6 T IW	[]	目的妥当性① 目的妥当性①	D②、有効性@ D②、有効性@ 的妥当性①③ [有効性@ [有効性④ [効率性⑦®	○	廃止 休止 目的再設定 事業統合・連携 有効性改善(成果 効率性改善(コス 公平性改善 現状維持・継続			□ 除休日事有效公	企业 (企业) (企业) (企业) (企业) (企业) (企业) (企业) (企	定 ·連携 善(成果向 善(コスト)			
		改善計画	-)のチェック項目に		のように取							
こ み聞かせ に努める	せボラ る。ま	シティアグル た、ブックスタ	・ープ等との連 ・ートの内容に	:取り組むべき具体的 携を図り、読書推進 ついて、各図書館・『 実施しているおはな	の取り組みの充実 図書室、ボランティ	アが一体	•	<u>を踏ま</u>	z. (UIC)	≜記すべ:	き取組み内容		